



第2回全国レディース硬式テニス大会 昭和55年11月10日～13日 東京トビレックプラザコートにて

全国レディース硬式テニス決勝大会会場



主催 日本庭球協会 / 協賛 味の素ゼネラルフーズ(株)
朝日新聞社 / 味の素(株)



第2回

全国レディース硬式テニス

決勝大会



●昭和55年11月10日～13日
東京・トビレックプラザテニスコート
●主催 日本テニス協会、朝日新聞社
●後援 (財)日本体育協会
●協力 日本女子テニス連盟
●協賛 味の素セネラルフーズ株式会社、味の素株式会社

ママさん硬式 テニス決勝大会

なごやかに、クリーンに。さわやかな、ママさん選手たちの対戦が、コートいっぱいに繰り広げら

1回戦は不戦勝

県代表、きょう石川と対戦

本県チームはブラカドを持った監督の斎藤祐子さん(宮)を先頭に元気に入場進出した。県大会で一位になった菅原純子選手(宮)も秋田市東通観音前IIが紺色の地に「AKITA」と金色の字を浮か

れ、飛び交うイエローボールに、健康な歓声がわいた。東京都江東区のトビレックプラザテニスコートで十日開幕した第1回全国レディース硬式テニス決勝大会(日本テニス協会、朝日新聞社主催、味の素、味の素セネラルフーズ協賛)は、はた寒い陽気が風を弱く、時折薄日が差し、まず上友のコンディションの中で、開会式に続いて一回戦十五試合が行われた。「レディースシップ」にのっとり、「和気あいあい」なプレーすることになった。奥野チサさん(宮)北海道IIの選手宣誓の通り、ママさんたちは礼儀正しく、しかもびのびとプレーを披露した。この日、不戦勝チームは十七都府県。こちらの選手たちは、二回戦に備えて、「あすの対戦相手」の試合ぶりを観察し、練習に汗を流した。

立たせた県代表旗をかげ、そのあとに五人の選手が軽やかな足どりで続いた。他の各都道府県のチームとともに整列、本県チームのはつらつとした表情が目立った。



元気に入場行進する県チーム

本県チームは二日目の十日は不戦勝。第百の十一日に行われる二回戦に出場する。対戦相手は石川。選手の調子はおしなべて好調のようだが、杉山和選手(宮)秋田市十高港中央六丁IIがちょっと力不足。同選手は医師で、「医者不養生」と他の選手から冷やかされ、にが笑い。対戦を前に笑い声がいつぱいだった。



「コーヒープレーク」
試合待つ間、熱いコーヒでホッと息つく秋田県チーム

県勢の健闘あと一歩

2回戦 石川の粘りに屈す

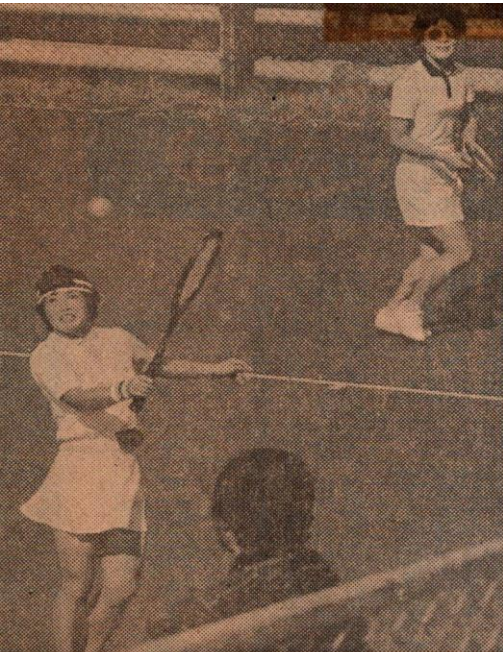
ママさん硬式 テニス決勝大会

だが、相手の粘りに屈し、惜敗した。

第一試合の杉山選手と秋田市土崎港中央六、杉山恵子選手は同四回戦のペアで、第一セットは落とされたものの、第二セットは後半に追い上げ接戦の末、7-6でとった。第三セットも粘り強くかと思われたが、相手のいいねいな返球に「根負け」した。杉山選手は勝ち巻きを締めて、やる気十分。中盤から、自宅にテニスコートを持ち練習量の豊富さなどがわかるような強いサーブ、勢いのあるストロークを打ち込んで、だが「テニス歴三年」と本人がいいうように後半、経験の差が出たのかもしれない。相手の石川勢は僅か「一歩」のところまで追い込

第二試合の縄野選手と選手は同三回戦のペアで、第一セットは落とされたものの、第二セットは後半に追い上げ接戦の末、7-6でとった。第三セットも粘り強くかと思われたが、相手のいいねいな返球に「根負け」した。縄野選手は勝ち巻きを締めて、やる気十分。中盤から、自宅にテニスコートを持ち練習量の豊富さなどがわかるような強いサーブ、勢いのあるストロークを打ち込んで、だが「テニス歴三年」と本人がいいうように後半、経験の差が出たのかもしれない。相手の石川勢は僅か「一歩」のところまで追い込

第三試合の市村選手と選手は同三回戦のペアで、第一セットは落とされたものの、第二セットは後半に追い上げ接戦の末、7-6でとった。第三セットも粘り強くかと思われたが、相手のいいねいな返球に「根負け」した。市村選手は勝ち巻きを締めて、やる気十分。中盤から、自宅にテニスコートを持ち練習量の豊富さなどがわかるような強いサーブ、勢いのあるストロークを打ち込んで、だが「テニス歴三年」と本人がいいうように後半、経験の差が出たのかもしれない。相手の石川勢は僅か「一歩」のところまで追い込



ママさん硬式テニスで健闘する県代表の千田、縄野組

でチームの負けが決まってしまったためか、気落ちして二セットとも落とした。

終わって監督の斎藤中さん「秋田市牛島西四は、大変な相手とは思わなかった。しかし、こちらが実力を出せなかった。とくに縄野・千田組はタツツの差。チャンス・ボールを何度もミスして決められなかった。ゆるいボールが返って来た時にスマッシュを打てなかった。ストロークは互角なのだから、スマッシュを練習して実力をつけて来ると語っていた。

▽2回戦

飯宮	井山	笹岡	石
島崎	田形	尾田	川
2	2	2	3
6	6	6	0
0	0	0	0
0	0	0	0
菅上	千縄	杉山	秋
原村	田野	山和	田

静岡(8年強)が姿消す

レディーステニス開幕

第一回全国レディース硬式テニス決勝大会(日本硬球協会、朝日新聞社主催、味の素、味の素セネラルフット協賛)は、くもり空ながらおだやかな天気に恵まれた十日、予選を勝ち抜いたママさん選手百八十八人を東京・トビレックに集めて四日間の戦いをあけた。

予選で敗れた前優勝の埼玉、準優勝の兵庫、三位の東京、神奈川の上位四チームを十七チームはこの日試合が行われなかったが、残り三十チームによる一回戦十五試合の激しい争いを展開して、寒さを吹き飛ばした。

この中で前回ベスト8に残った静岡は昨年代表がすっかり入れ替わって(ベスト8のチームは昨年

▽1回戦

三	和	大	茨	山	奈	広	愛	福	滋	沖	京	石	福	栃
歌	山	阪	城	口	良	島	知	井	賀	縄	都	川	岡	木
2	2	2	2	3	3	2	2	2	3	3	3	2	2	3
2	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0
1	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0
大	福	宮	長	鹿	富	青	北	佐	島	岩	静	鳥	群	新
分	島	崎	崎	島	山	森	道	賀	根	手	岡	取	馬	湯



子ども連れで入場行進する全国レディース硬式テニスの選手たち=東京都江東区のトビレックプラザコート